

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業	
事業名	人形劇俳優たいらじょうの世界 サン=テグジュペリ原作「星の王子さま」R-15			
目的・内容	<p>大人向けの人形劇という新しいジャンルの公演を行うことで、人形劇・演劇の多様さを知ってもらい、その魅力を伝えるきっかけとする。また、世界的に有名な物語である「星の王子さま」を題材とした公演を行うことで、普段、劇場へ足を運ばない人々への興味・関心を引き出し、新たな鑑賞者の開拓を図る。</p> <p>【使命】文化人口の拡大とレベルアップ 【事業の柱】国内外の質の高い舞台公演の鑑賞機会の提供を目的とした事業</p>			
開催日時	平成25年3月2日(日) 開演19:00			
会場	米子市文化ホール メインホール			
入場料 (友の会・団体)	大人 3,500円 (3,000円)	学生 1,500円		
集客状況	入場者数 304名	設定席数 596席	集客率	51%
事業費状況	予算額	収入 1,543,000円	支出 2,499,000円	収支比率 62%
	決算額	収入 971,500円	支出 2,215,883円	収支比率 44%
来場者アンケート (主なもの)  回答者数 221名	<p>回収率75.7%、満足度79%、新規顧客獲得率75%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人形劇は初めてでしたが、話が進んでいくうちに王子さまに魂が宿っているかのように思えた。数少ない舞台装置、人形を使っの1人で2時間演じ続けるモチベーションが素晴らしかった。</li> <li>・大人のための人形劇とは、どんなものだろうと思って鑑賞した。原作の世界感を十分表現していると思った。</li> <li>・とてもとても感動しました。すごく大切なものを思い出せた気がします。私は人形劇に惹かれ、息子は星の王子さまが大好きで今回観たのですが、本当に来てよかったです。涙が止まらず自分でもびっくりしました。</li> <li>・R-15指定でしたが、子どもと一緒に観て、感想を語り合えるようにしても良かったと思う。</li> </ul>			
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R-15という特殊な公演であったが、静まり返った会場で演目に集中している様子、満足度、新規顧客の開拓という意味で、公演実施の意義はあった。</li> </ul> <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊な公演の広報における難しさを実感した。</li> <li>・都市部では人気を集める今回のような公演を、地方で開催するタイミングを見極めることが重要。(マスコミやメディアへの露出度等)</li> <li>・大人対象ということ、小さな子供がいる世代の来場の可能性を考え、託児の設定を事前に見極めておくことが必要であった。</li> </ul>			
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近県からの来場、若い層、家族が多くみられ、鑑賞者の開拓はできた。</li> <li>・プレ公演の写真展(静)と舞台(動)での感動は感じたが、いろいろな角度からのプレ公演は観客の満足度を高める役割は果たしている。</li> <li>・職員の対応についてレベルアップしてきている。これに関しての情報共有は必要。</li> </ul> <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R-15の説明が不十分。浄瑠璃など元々大人の娯楽であった人形劇を理解させること、より芸術性の高い者を通して子どもにも理解できるものを構築していく必要あり。</li> <li>・広報の難しさはあるが、戦略的にさらなる工夫が必要であった。</li> <li>・会場の大きさが適切であったかは検証が必要。コンベンションセンターの小ホール程度が適切だったかもしれないと感じる。</li> <li>・地元人形劇団、アマチュア劇団等に対し、事前に作品を観る・理解するという環境が必要。人形劇活動団体や劇団の人形劇に対する認知度の問題も含んでいる気がする。</li> </ul>			
今後の対応、 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人形劇ということで前の席の希望が多かった。席による料金設定の工夫が必要であり、今後の設定に生かしていきたい。</li> <li>・十分な成果にはつながらなかったが、広報・PRに対し、地もとの方々や団体に多くの協力を得た。その繋がりや今後の西部での取り組みに継続していけるような関係を維持したい。</li> <li>・財団として今回のような特殊なジャンルを取り上げたことの意義は整理し、このような公演に限らずその方向性や県民に対する趣旨は説明していかなければならない。そのためにも県民ニーズの把握と企画選定時の明確なビジョン設定が必要。</li> </ul>			